

百六十萬道民の赤誠乗せて

晴れの献納式舉行

[illegible]

夜は火の海原

上海陷落
戰勝祝賀
大提灯行列

續き本府内を埋めつくし、
 越後津に轉戦し、
 振られて自殺
 自殺した北上西
 澤平中の卓越、黄定町四
 服、向李、東方雇人、鄭相
 臣、王、前四、結頭、クレソ、ソ、

銃後の赤誠

輝く献金

五ノ井鬼大尉

再び名譽の負傷

右下股に貫通銃創

黑澤上等兵戰死

娘千闌附近の激戦で
走馬原に退却し、
【C.C.C.】特務部隊は、九隊の砲
撃で、隊に響いて、傷者を出し、退却
した。三月十四日、翌々朝附近
の激戦で、千闌の砲撃を生じた。三
十日、日軍、原隊から、千闌の砲撃

華北明朗化の新建設

硝煙の裡に進行

おゝ！偉大なる日本の姿！

天津にて松田特派員發

當るぞ、當るぞ！

相手の手は交差してゐる。これは京城港支那の明大會議^{（一）}、同文記では三十一日午前十時半から龍山遊藝場開演の大會を開催、小澤司令官を始め彼等の諸君も参加し、午後四時會議終了。

(官)

釜山の二人組
持兇器強次郎

【金山】Wに三折、陸平折、陸の
日本刀一口と名近分の愛

彈丸飛雨の中にも
戰歿部下へ熱涙

悲壯、中島少佐の絶筆

貫鐵町の強盗は
悠々二人組

國家出人者を取

清津、新京間空運

來月一日から復舊

學童の赤誠

可憐勤勞獻金
(一八七) 松本國民の志士 志士松本
貴安子 先生志士松本 名は凡
月毎の献金は東京の山手行
たのや置屋に 毎月十圓又
同様に募得、本館におく。名も同し
松本拾ひで一圓廿枚を付、三十
日圓謝費として、邸直分庫へ寄
めにつかて下さい。

◆
 本が天津に入つた翌日、銀票は
 暴落をして日本の金票は九十八

支那民族は先づ角手氣で生活を續けてゐる點である。勿論國家經濟と個人經濟との懸絶たる懸絶はあるにしましても、その生活力質に根柢を以て立てた、夫れ日本軍の侵襲まで上つて来た。

支那民族は先づ角手氣で生活を續けてゐる點である。勿論國家經濟と個人經濟との懸絶たる懸絶はあるにしましても、その生活力質に根柢を以て立てた、

私は華北の天地を見て此種民族に中華の國民民族たる所謂「華族」民族を見たのが相當なる事を見た。

日本商人を痛罵するのを見て、日本和易

[illegible]

<p>町田所として陸揚げしてゐるが、その際、船に隠れては難くない。吾等も、その理を言つてゐるから、</p>		<p>天氣豫報 (一日)</p>	
東京	晴	東京	晴
山梨	晴	山梨	晴
長野	晴	長野	晴
岐阜	晴	岐阜	晴
富山	晴	富山	晴
石川	晴	石川	晴
福井	晴	福井	晴
滋賀	晴	滋賀	晴
京都	晴	京都	晴
大阪	晴	大阪	晴
兵庫	晴	兵庫	晴
奈良	晴	奈良	晴
和歌山	晴	和歌山	晴
徳島	晴	徳島	晴
高松	晴	高松	晴
愛媛	晴	愛媛	晴
高知	晴	高知	晴
福岡	晴	福岡	晴
佐賀	晴	佐賀	晴
大分	晴	大分	晴
熊本	晴	熊本	晴
鹿兒島	晴	鹿兒島	晴
沖縄	晴	沖縄	晴

十一月 1日 封切

！よせ滅穢をイバス・よ民國

アウローパ・ダリ ヲルゴロ・リイカ
演主ナルエノ・フォルドル
作執超アツの國有能・ミタリムカ
出提事商和東

白蟻 イバス

内閣情報部
第一回推薦吹書

スミセイに平定シ、東洋の異情は
なほ、秘蔵モノといふは斯くて
なる。國家の運命、車馬にも重
きもの、特記、スミセイと對敵
級の強敵にかゝりたら、國に
破滅の命運にかけし、斯處すべし
ナリ。朝を我々に如何に善美
するや！
スミセイが世道を騒した事、時
スミセイタリ。

若 劇

小男 大人
小人 大人

原節婦朝歡映畫
獻送諸大・日興

東海美女傳

演出別 特子節原・子蘭井花・詔太彌川黒
演助子金村鈴・三奈見屋・詔太彌井永・明之島良島
監映策東・三民田石・實隆 萬緒松村・作執

[illegible][illegible]

北鮮交通發達史上に輝かしき一頁を飾る惠山線鐵道(延長百四十二杆)は關係地方の待望裡に日出度く全通しいよいよ十一月一日をもつて全線の運輸營業を開始された。今幸は、この鐵道(電報)を脚と爲るべき道を長とするのである。本鐵道は國都の雄都惠山鎮を起點とし咸鏡北南兩道を縫ひて吉州に出て咸鏡線によつて城津港に結ぶ所謂國境と港灣を最捷路に聯絡する重要路線で昭和六年四月起、以來實に六年七ヶ月の時日と千五百餘萬圓の巨費を要したのである。本鐵道の鐵工事期間、標高千二百米の地形に對しては本那鐵道に於て嚆矢とされる飛行機による空中寫眞測量を實施し經費費を達し全幹線の第一の寫眞帶を完成する勇氣は多量に備はり人智に技術を動員し一最良の努力を傾け大熱

を傾け、遂に完成したのである。しかも、東山嶺下間の最難工事區間で、勢上合水及南溪にはスキツチバック驛を設け又曲線喫道及本線最長の延長二、二一三米の南雪嶺隧道を爆發し本線第一の經濟地點に達せしむる等鐵道建設史上赫々たる幾多の功績は永久に輝くであらう。本線は國防上重要性を有するは勿論白岩より茂山に到り、拓殖鐵道白岩線の幹線として支那中部に於ける貿易の増進と經濟的の擴張に、又文化の伸張に、一寄與を盡し更に滿洲國長白吉林新京を結ぶ片長線鐵道の實現を促進し將來、鮮滿交通運輸の根幹をなすものといふ成就を模範門戸としての重要役割を負ふ鐵道は、鐵道照映としての地位を、則ちこの一歩を力強く踏みしめたのである。

西の自領とすス極秘の遊藝古書
 は、百六十ヶ箇、人生には一
 才と稱され伊大利達を榮耀
 せしめる一大寶庫を現得
 たる

笹川恭三郎

歴程久しかりし山田親士達に十一月一日を以て目出づる逢まつたことに被り感謝の意を表したものである。

本報は昭和六年五月青森へ移転してこの地を以て以來編輯、合弁、白岩、誠實と並び全国新聞界の泰山嶺を日本紙に繼いで通するもので現長島市四十一軒七六、六年半の歳月、千五百餘萬圓の工費とを買ひ了げたのであるが、途中朝鮮の暴動の一角鮮東部の徴徴

を千五百餘米に越へてを急ぎ龍巻川トシネル、スエツ川バクタ等諸事難境である。従つて延緩は物憂の憂へに加ふ大患災疫風、騷々たる時代なりならず。この愚説こそは現代の文化勸業事業の自然發展の姿のもので今我の理想亦絶えずと天然との相照の運命である。

この雄略をも厳格するに至つたことは既にその經濟時、政治時、軍事的要件を最も精確に拘持してゐる。近世北洋海陸的發展、日露戦争の一ワックラ、支那亂勢の全勝戦世界史の急轉を地方は帝國を導き本機の完成に如何なる偉功を奏したかといふ。

今や本報の道に入りて千島群

[illegible]

の巨骸にあり地方の豪族に
を捨ててゐる民は驚き、
を電の、廣知あり朝鮮人の
運搬船には特別關心を有し、
氏と共に父を返つて學費を申
れる朝鮮人達を扶け預かる
へめた申すの、美談といふも
へたである。

北川三策氏

朝鮮疫症の被害者で、且、母の

ての北川三策氏は朝鮮疫症の
陛下、梅津其の當を以ていふ
感傷業の出身で、一時長崎に居
運業を営み明治十六年城野
つて諸病を罹せんとする。先
て朝鮮海防各地に轉業し、其
から予備行實を購して他、位
六等にて叙せられ、明治廿
探けらる其の餘亦不在中城、
ける足跡は兵隊より一歩を
するに到り一時京城に傳せし
運の出来を、つと二年明治
城野に引續き居る。

營業種目 建築土木 電氣材料 鐵道材料 土用材料 丸 杭 太

株式會社 須川洋行製材所

威銳北道城津港町
電話二五五五
振替口座京城二〇八〇五
私書函 第二號

<p>城津邑旭町</p>	<p>金明夏製材所</p>	<p>電話長二四一</p>	<p>惠山館</p>	<p>杉山幾次郎</p>	<p>公立普通學校</p>	<p>甲山郡廳</p>	<p>惠山警察署</p>	<p>惠山鎮電氣會社</p>	<p>豐山警察署</p>
--------------	---------------	---------------	------------	--------------	---------------	-------------	--------------	----------------	--------------

森 勘藏	三笠 食堂	小西 鐵藏	岡本 久雄	今西 隆一	阪本 正男	中根 彦治郎	威鏡 南道知事	笹川 恭三郎
豐山郡 磨	豐山郡 甲山工場	豐山郡 北鮮支場	豐山郡 橋本榮太郎	豐山郡 高瀬敬藏	豐山郡 共興株式會社	豐山郡 惠山鎮出張所	豐山郡 木材産業組合	豐山郡 惠山鎮支部

